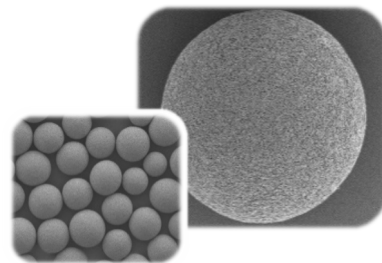


造粒技術による 真球状複合化粒子の作製



概要

真球状複合化粒子は、戸田工業が独自開発した造粒技術を用いて作製する、フィラーと樹脂からなる複合材料です。任意のフィラーを選択でき、フィラーに由来する機能を付与した造粒体が作製できます。また戸田工業では複数種のフィラーを製造しており、ご要望に対する各種提案も可能です。

特徴

高流動性

流動性にすぐれた真球状の造粒体です。

粒子特性のコントロール

シャープな粒度分布を維持しながら粒子径のコントロール($\sim 70 \mu\text{m}$)が可能です。

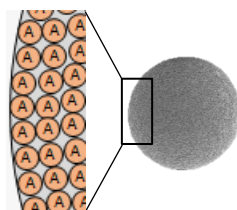
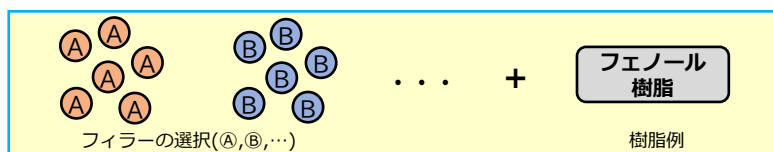
フィラーの高充填化

フィラーを高充填することで、その機能をより有効に発揮する造粒体が作製できます。

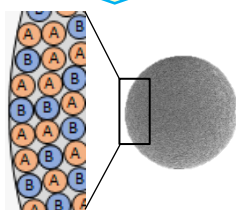
技術情報

【造粒構造】

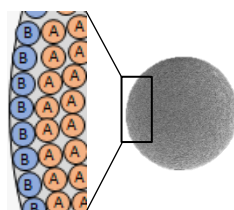
フィラーは1種類(a)でも複数種類でも造粒が可能です。例えば2種類の場合は、フィラーがランダムに分散した造粒体(b)と、二重構造を持つ造粒体(c)を作製できます。



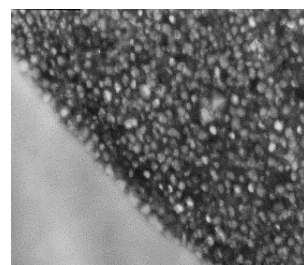
(a) 1種類のフィラー造粒体



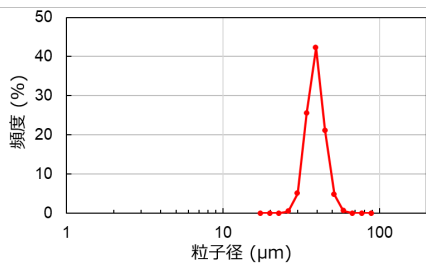
(b) 2種類のフィラー造粒体
(ランダム構造タイプ)



(c) 2種類のフィラー造粒体
(二重構造タイプ)

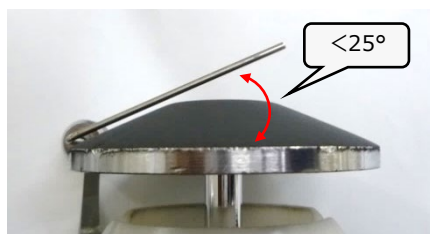


【造粒体の断面イメージ】
高充填構造であることが分かります。



【粒度分布】

非常にシャープな粒度分布を示しています。



【安息角測定】

安息角が25°より小さく、流動性指数の区分では「極めて良好」に属する高流動性を示しています。

